

コラム 38 :【人との距離に関して】

人間関係では、その人ができることを応援し、できないことはサポートしていくことが大切です。

例えば、子どもがメンタルクリニックを受診する場合、『具合の悪さ』を自分では上手く説明できないことが多いと思います。その場合でも、先生は、親が代わりに説明することを好みません。このような場合には『家でも本人が主張する前に手出しをしている親』に見えることで、親が子どもの自立を邪魔しているという印象を与えてしまうからです。

このような場合には、受診する前に親が観察した『本人が困っていること』をシンプルにメモ書きして、本人に確認してみましょう。そのメモを先生に見せるということを事前に本人に伝えておきましょう。先生には「本人に確認しています」と伝えてメモを渡せば、適度に距離は置きながらもサポートはできているといえます。